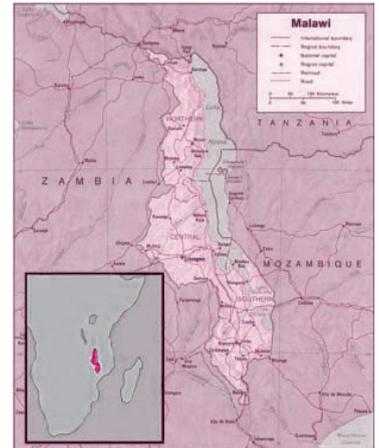




# 海外通信 from マラウイ No.7

2015年1月に、国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊員として、アフリカのマラウイに派遣された小河原香織さん（市内野上出身）が帰国しました。



「追伸」

小河原 香織



約2日かけて、日本に帰ってきました。久しぶりに寒さと冷たさを感じ、その感覚を満喫している自分がここにいます。

私が青年海外協力隊として活動していたマラウイでは、雪を見ることはありません。しかしマラウイでは、たくさんの日本に関連することを見つけることができました。一番多いものは、日本で仕事を終えた車です。すでに何万キロも走ってきているはずなのに、マラウイでは現役です。マラウイの道は、日本の舗装された道とは比べものにならないほど悪い。それでも運転手はきちんと車を操作し、日本製の素晴らしさを訴えてくる人もいました。

マラウイには様々な国からの援助が入っています。アメリカ、イギリス…そして日本。わたしはJICAのメンバーとして活動してきましたが、よく声をかけられました。またその援助のおかげで、日本に勉強をしに来たことがある現地の人も多くいます。彼らのほとんどは、私と久々の日本語を話せることを喜んでいました。

職場であったTDC（教師研修センター）には、小さな小さな図書館があります。その中でも、日本に関するものを見つけることができました。



▲私が教えていたクラスの子どもたちと担任の先生

例えば、広島の前爆の話や昔話などです。さらに学校では、サンリオのハローキティや任天堂のマリオなど、日本のキャラクターが入ったTシャツを着ている子を見かけることもあります。

遠く離れたアフリカでも、日本はこんな風に伝わっています。これから私たちは、どんなことを発信していくのでしょうか。

## 市民の皆さんからまちのできごとを募集しています

広報常陸大宮では、「市民の方からのまちのできごと」を募集しています。皆さんがお住まいの地域のできごとについて、原稿か写真を直接秘書広聴課へお持ちいただくか、メール等でお送りください。また希望があれば取材に行きますので、情報の提供をお待ちしています。

※ただし、内容が営利・宗教・政治的なものや公序良俗に反するものなどは掲載できません。

また紙面の都合上、掲載が遅れる場合もありますのでご了承ください。

【問い合わせ】 政策審議室 秘書広聴課 ☎52 - 1111（内線312） FAX53 - 6010  
〒319 - 2292 常陸大宮市中富町3135 - 6  
Eメールアドレス→ [hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp](mailto:hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp)

